

# 北海道役員視察研修報告

令和1年10月30日～11月1日にかけて、北海道役員視察研修を行った。

10月30日 伊丹空港にて集合し、羽田空港を経由して中標津空港に到着し、その後、トータルハードカーフサービス(THCS)を視察、同敷地内に併設しているETセンターも視察することができた。



THCSでは、まず哺育施設を見学し、廃業酪農家の牛舎を改造した哺育牛舎での陽圧換気システムや下痢の処置・対策について細かく説明を受け、次にD型テント牛舎において育成で区別方法・管理ポイントを中心に説明を受け、参加者からも熱心に質問がなされるなど充実した視察となった。その後、ETセンターを見学し、今後ETの在り方、活かし方について細かく説明され、非常に有意義であり、時間が足りない見学会となった。

10月31日 全酪連中春別センターと、ホクレン根室中標津市場において、初妊牛の購買を実施し、12月分娩から1月分娩まで総頭数45頭を購入した。市場では、65万円平均とかなり安く購買がなされ、本人取りが30%を越える中、45頭購入できたことは意義深いと感じる。市場上場されている牛たちは約80%以上がF1であり、今後組合での受精について組合員に対し注意喚起すべきと感じた。

市場購買を終えた後、突然ではあったが、ジェネティクス北海道道東事業所を訪問し、情報交換と懇親を深めることが出来た。帰り道、コーンズエージーにも立ち寄り、トラクター340馬力、約4千万円相当を見学することが出来た。農機具すべてが、兵庫とは格段の差があり圧倒された。

今回の研修も非常に有意義で、学ぶべきこと、組合としての今後在り方、考えを定めるいい研修になったと思います。

